



# テクニカルダイアリー



葉枯病は糸状菌(カビ)によって引き起こる病害です。秋から春先まで長期に渡って発生します。気温が15〜20℃の時に発病しやすく、降雨によって拡大します。主に外葉では、紡錘形〜楕円形の病斑を形成し、暗褐色すす状のカビを生じます。中心葉付近では、黄緑

葉枯病

斑紋病(ベと病)やアザミウマによる被害が見られる圃場もあるため、被害拡大に注意が必要です。表③と表④を参考に病害虫防除を心掛けてください。

令和元年度産の状況

昨年は梅雨が長く、8月が高温だったことから、多くの圃場で生育不良が見られました。また、9月の台風15号や10月の19号の通過により、葉折れ・倒伏などの被害が発生し、2〜3週間程度出荷が遅れました。

表③ 葉枯病・黒斑病・べと病に登録のある薬剤

葉枯病	黒斑病	べと病	薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
●	●	●	アミスター 20フロアブル	2,000倍	3日前まで	4回
●	●	●	メジャーフロアブル	2,000倍	前日まで	3回
●	●	●	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	14日前まで	3回
●	●		ベルグート水和剤	2,000倍	30日前まで	合わせて3回
●	●		ポリベリン水和剤	1,500倍	14日前まで	3回
●	●	●	テーク水和剤	600倍	14日前まで	3回
●	●		パレード20フロアブル	2,000〜4,000倍	前日まで	3回
●	●		ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	7日前まで	3回

表④ ネギアザミウマに登録のある薬剤

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
アクタラ顆粒水溶剤	1,000〜2,000倍	3日前まで	3回
アグリメック	500〜1,000倍	3日前まで	3回
リーフガード顆粒水和剤	1,500倍	7日前まで	2回
コルト顆粒水和剤	2,000倍	3日前まで	3回
ディアナSC	2,500〜5,000倍	前日まで	2回
スターグル顆粒水溶剤	2,000倍	3日前まで	2回
ベネビアOD	2,000倍	前日まで	3回
★ファインセーブフロアブル	1,000〜2,000倍	3日前まで	2回
★グレースシア乳剤	2,000〜3,000倍	7日前まで	2回

★・・・ネギアザミウマに高い効果が期待できます

「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病害虫対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちらから(登録無料)



JA山武都市の組合員ならご自分で登録できます。

11月の分析経過について

合計22点	
残留農薬分析点数	多成分一斉分析
秋冬ネギ	7点
秋冬ニンジン(ちばエコ)	3点
ニラ	1点
越冬キュウリ	2点
ニンジン	1点(緑の風)
サトイモ	3点(緑の風)
ホウレンソウ	1点(緑の風)
ダイコン	1点(緑の風)
おかわかめ	1点(緑の風)
プロッコリー	1点(緑の風)
サトイモ	1点(インショップ)

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計22点



写真③ ネギの黄色斑紋病斑

色の不規則な斑紋症状(黄色斑紋病斑)を生じ、商品価値を著しく低下させます(写真③)。葉枯病は、べと病の病斑

に二次的に感染することも多く、早めの予防散布が重要です。また、肥切れや草勢の衰えた圃場で多く発生するので、肥培管理や適期収穫に努めましょう。

圃場準備

土壌pHが高いと、そうか病の発生が多くなるので、施肥前に土壌診断を行いましょう。pHが高い圃場は作付けを避けるか、石灰質肥料を控えるなどの調整をしてください(ジャガイモはやや酸性気味の土壌「pH5.5〜6.0」の施用をお薦めします)。

病害虫防除

ジャガイモで特に注意しなければならぬのは、疫病です(写真①、②)。2〜3日連続で雨が降ると疫病がまん延してしまい、全滅することがあります。昨年のように、梅雨時



写真② 疫病② (写真提供:JA全農)



写真① 疫病① (写真提供:JA全農)

一般的に種イモは大きいほど初期生育が良く、茎数が増えイモ数も多くなります。しかし、種イモの重量が60g以上になると収穫量に差異はなく、1片の大きさは40〜60gで十分です。切り分けたイモは2〜3日風通しの良い日陰で乾かすか、黒あざ病を予防するためバリダシン粉剤DLを種イモ重量の0.3%粉衣処理しましょう。昨年、ネキリムシやケラなどの発生があった場合は、植え付け前にダイアジノン粒剤5(6kg/10a)の施用をお薦めします。

種イモの準備・消毒

を好みます)。施肥は表①をご参照ください。

植え付け作業

冷涼な気候を好みますので、晩霜害の恐れがない限り、早めに植え付けます。浅植えの方が地温上昇の影響が大きくなり出芽も早いです。乾燥した畑では逆効果となります。また、深過ぎると出芽が遅れてしまうので注意が必要です。雑草の多い圃場は、植え付け後にゴーゴーサン乳剤を散布してください。生育中にとりこぼした場合は、プリグロックスL(400〜600ミリリットル/10a)「1000〜1500」を畝間に散布しましょう。

表① ジャガイモの施肥量の目安

肥料名	成分	施肥量(10a当たり)
さんぶジシアン有機特806	8-10-6	200kg
苦土重焼燐	0-35-0	40kg
畑のカルシウム	カルシウム28.5%	100kg

表② ジャガイモの疫病に登録のある薬剤(2月下旬に植付けの場合)

散布時期の目安	薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数	備考
4月下旬	リドミルゴールドMZ	500〜1,000倍	30日前まで	1回	収穫前日数が多いので注意
5月中旬	レーバフロアブル	1,500〜2,000倍	7日前まで	2回	
6月上旬	プロポーズ顆粒水和剤	750〜1,000倍	7日前まで	5回	ダコニール1000と同じ成分(TPN)を含むので、使用回数に注意